

パイプフック PL
仕 様 書

2019年 8月 8日

因幡電機産業株式会社
開発統括部

目 次	ページ
1. 用 途	3
2. 特 長	3
3. 製品仕様	3
4. 性能試験	4
4-1. 荷重保持試験 (固定時)	4
4-2. 荷重保持試験 (仮止め時)	4
5. 施工手順	5
6. 注意事項	6

1. 用途

本製品は冷媒用被覆銅管を W3/8 の全ねじボルトに対して、横引き支持するためのものです。

2. 特長

- ・軽くて丈夫、搬入時の持ち運びも楽な支持具です。
- ・ボルトへの仮止めやロックがワンタッチでおこなえます。
- ・仮止め解除レバーで位置調整が簡単におこなえます。
- ・ロックカバーを閉じることでボルトに固定できます。
- ・フタ部の配管固定カバーの開閉がワンタッチでおこなえます。
- ・配管の仮置きが可能です。

3. 製品仕様

本製品の仕様、許容静荷重および使用温度範囲を 表-1 に、寸法を 表-2 に示します。

表-1 仕様、許容静荷重および使用温度範囲

型番	適合配管サイズ (mm)	材質	色調	許容静荷重	使用温度範囲 (°C)
PL-24V	6.35 (保温材厚 8) × 9.52 (保温材厚 8) 6.35(保温材厚 8)×12.70(保温材厚 10)	PP	グレー	74.5N (7.6kgf)	0 ~ 60
PL-35V	9.52(保温材厚 8)×15.88(保温材厚 10)				

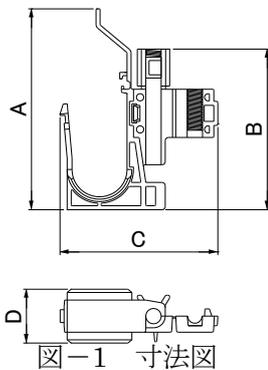


表-2 寸法

型番	寸法 (mm)			
	A	B	C	D
PL-24V	115	94	100	34
PL-35V	124	100	103	34

4. 性能試験

4-1. 荷重保持試験（固定時）

(1) 試験方法

図-2 に示すようにパイプフックを W3/8 のボルトに固定した状態で、7.6kg の錘を吊るして 72 時間放置し、パイプフックの脱落の有無を確認します。

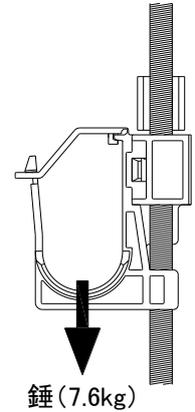


図-2 耐荷重試験（固定時）

(2) 試験条件

雰囲気温度：0℃，23℃，60℃

(3) 試験結果

パイプフックは脱落せず、また、使用上支障のある変形はありませんでした。

4-2. 荷重保持試験（仮止め時）

(1) 試験方法

図-3 に示すようにパイプフックを W3/8 のボルトに仮止めした状態で 1.52kg の錘を吊るして 8 時間放置し、パイプフックの脱落の有無を確認します。

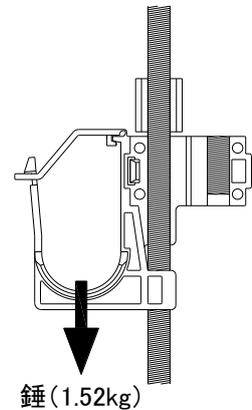


図-3 耐荷重試験（仮止め時）

(2) 試験条件

雰囲気温度：0℃，23℃，60℃

(3) 試験結果

パイプフックは脱落せず、また、使用上支障のある変形はありませんでした。

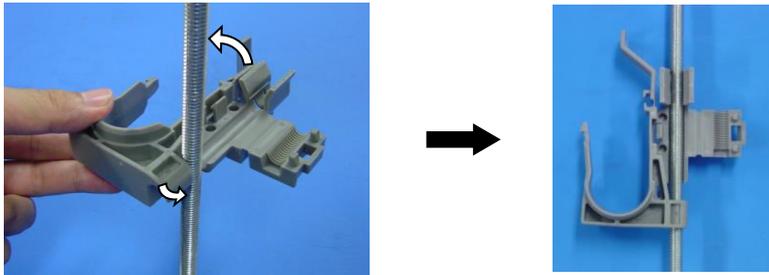
5. 施工手順

(1) 吊りボルトへの仮止め

パイプフックをボルトに仮止めしてください。

この時、パイプフックのねじ山がボルトにカン合していることを確認してください。

注意) パイプフックは、ボルトW3/8専用です。ボルトM10には使用しないでください。



仮止め状態

注意) パイプフック仮止め時、被覆銅管を仮置きすることができます。

但し、仮置きした被覆銅管に力をかけると、パイプフックが脱落する恐れがありますので、ご注意ください。

(2) 仮止めの解除

仮止め解除レバーを矢印の方向に倒してください。(仮止め解除レバーを倒すとパイプフックのねじ山がボルトから外れ、仮止めを解除できます。)

取付け位置を上下に調整した後、パイプフックをボルトに仮止めしてください。

この時、パイプフックのねじ山がボルトにカン合していることを確認してください。



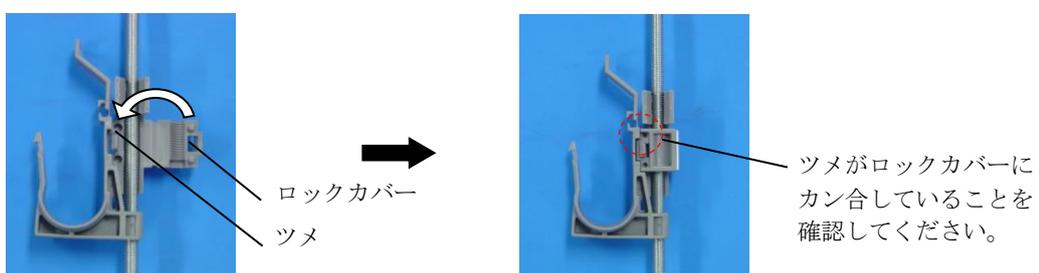
仮止め状態

仮止め解除

(3) 吊りボルトへの固定

取付け位置を決定し、矢印の方向にロックカバーを閉じてください。

この時、ツメがロックカバーにカン合していることを確認してください。



(4) 固定の解除

パイプフック取付け後に、その位置を再調整する場合は、以下の要領でロックカバーを外してから取付け位置を調整して下さい。ロックカバーは、マイナスドライバーを使って容易に外すことができます。

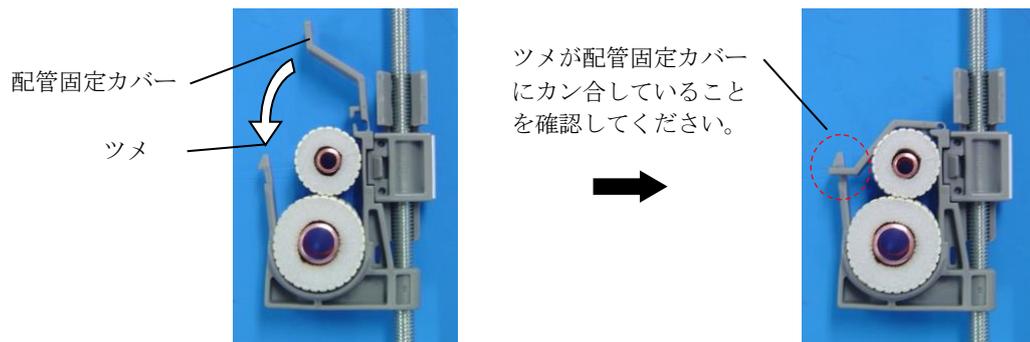
<ロックカバーの外し方>

- ① ドライバー差し込み口に、マイナスドライバーを差し込んでください。
- ② A点を支点にして、矢印の方向に力を掛けてください。



(5) 配管固定カバーの開閉

被覆銅管を横引き配管した後、矢印の方向に配管固定カバーを閉じてください。この時、ツメと配管固定カバーがカン合していることを確認してください。



6. 注意事項

- ・屋内専用です。屋外で使用しないでください。
- ・W3/8 ボルト以外には使用しないでください。
- ・許容静荷重 74.5N (7.6kgf) です。それ以上の荷重がかかる配管には使用しないでください。
- ・作業時には作業用手袋などをご使用ください。
- ・0～60℃の範囲内の環境下で保管・ご使用ください。
- ・炎天下の密閉された車中など雰囲気温度が高くなる場所での保管は避けてください。また、常温以上で製品に負荷がかかった状態での保管は避けてください。